

青森県東津軽郡平内町の接続表現

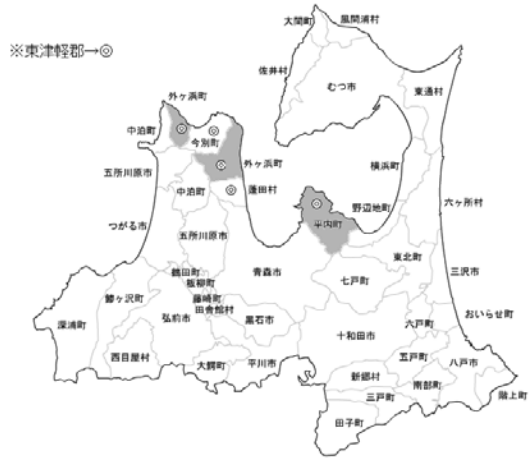
ドゴデについての一報告

—東津軽郡外ヶ浜町蟹田と比較して—

三浦 さつき

1 はじめに

青森県東津軽地方には、原因・理由を表すドゴデという接続表現が存在する。国立国語研究所『方言文法全国地図』第1集37図にも、「子供だからわからなかった」に対し、東津軽地方でのドゴデの回答が2つの地点で見られる。



【図1】青森県東津軽郡平内町（調査地）／外ヶ浜町蟹田

このドゴという表現は形式名詞のトコロから

由来するものと推測されており（此島 1968、竹田 2010）、中世末期資料には、このドゴデに似た順接確定のトコロデという表現が存在する。次のようなものである。

- (1) …其ノ上ヲハ、文帝モ ナントヲセラレウソナ處テ ヲツ、ケテ 子長シテヨイホドニ、建テ 太子トセウト 請ウタソ。
 （文帝も、何と仰せられそうなトコロデ、おっ続けて子長じてよい程に、建てて太子とせうと請たぞ。）（『史記桃源抄』「孝文本紀」p. 230）

- (2) しぜん物かげから見ることもあらふ所で、座禅の姿がなくばおくまひほ
どに… (虎明本狂言／中¹「はなご」p. 221)

中世末期に「未然形+バ」が衰退し、「已然形+バ」に仮定用法が移行した際、ニヨッテ、ホドニなどの一回的な接続表現が新たに生まれ、存在していた。中世末期の順接確定トコロデもその一つと考えられる。『日本大文典』には以下のような記述がある。

「Tocorode (所で) は、Fodoni (程に) と同じく理由を示す。例へば、
Sayoni voxeraruru tocorode mosarenu(さやうに仰せらるる所で
申されぬ。)Nai tokorode xinjenu(ない所で進ぜぬ), 等。
—後略—

(『日本大文典』1604～1608) ※開合表記は省略する。

中世末期資料のトコロデとの比較は今後の課題とし、本稿では青森県東津軽郡平内町の順接確定ドゴデと、東津軽郡外ヶ浜蟹田のドゴデの用法の比較を中心に行う。またドゴデの用法をより浮彫りにする為に、津軽地方の原因・理由表現として一般的な、ハンデの使用も共に見ていく。東津軽郡外ヶ浜の調査に関しては、竹田(2010)の蟹田の調査結果を参照する。

青森県は、津軽方言地域、南部方言地域の大きく2つに分けることができる。東津軽郡平内町は、青森市以西の、青森市を越えて津軽半島に位置する外ヶ浜町、今別町、蓬田村と共に東津軽郡に属し、青森市の東北方角に隣接した夏泊半島に位置している。平内町(旧津軽藩)の東側には野辺地町(旧南部藩)が隣接する。平内町は旧平内郷であり、もと南部藩だったものが1594(文禄4年)に南部藩から離れて津軽藩領となったため、明治の廃藩置県に至るまでの約300年間、南部藩と継続的に敵対関係にあり、厳しく交流を妨げられた状態にあった。その史跡として、藩境塚(四ツ森)が今でも残っている。言語的にはいわゆる「南部と津軽の境界線」を持つ地であり、隣接関係と言えど隣の旧南部藩の野辺地町とは交通も交流も断絶状態に近かったと考えられ、その言語の様子は現代の平内町生えぬきの人々の直感からしても異なると言う。

平内町における主要幹線道路は国道4号線で、「青い森鉄道」と同じく東西を貫き、青森市と野辺地町を結んでいる。内側に山岳地帯を有する夏泊半島の海沿いに点在する集落の人々の移動手段は、海岸沿いの県道9号線を使ったものになる。

町内は東部、中部、西部に大別され、人口は11,782人、5,095世帯数で、青森湾・陸奥湾での漁業が中心に行われている。

¹ 依拠するテキストは、後の頁の「使用テキスト」に記す。

はえぬきの人の直感として、町内であってもそれぞれの地域の言語には差があり、また内陸側と海側でも違いを感じるということである。青森市とは言語の表現法も少し異なり、同郡には属するが、津軽半島に位置する外ヶ浜等とも感覚的に異なると言う。従って本稿では今回の調査を東津軽郡調査とはせず、「東津軽郡平内町調査」とした。本稿では調査人数の関係上、地理的変異を示す所までは今のところできないが、今後複数人数での調査で変異を計ることの発端とすべく、小報告を行う。尚、今回の調査は調査時間の関係上、先行研究の外ヶ浜との比較を一部できなかった方のものもデータに含めている。

以降は、2章で先行研究、3章では調査の報告に先んじて、青森県各市区町村におけるドゴデの使用についての電話調査の結果を記す。4章では調査の方法・概要を、5章では文字化の方針についてを、6章では平内町の現地における面接調査結果と先行研究での外ヶ浜蟹田との比較を行う。7章ではまとめと考察、今後の展望を述べる。

2 先行研究

青森県の順接確定ドゴデを扱ったものには、此島（1963、1966、1968）、国立国語研究所編（2007）、平内町教育委員会（1980）、田中茂（2000）、方言文法研究会編（竹田晃子氏執筆・2010）がある。これらの解説の多くでは用法の記述が簡単に見られるのみだが、竹田（2010）ではこれを中心に扱っている。ここでは、本研究で参照する竹田（2010）に触れる。

竹田（2010）の調査・論考は、その資料の方針として方言文法研究会編（2007、2010）の調査項目で分類・分析を行ったものになる。以下にその調査項目を示す。

【表1】「原因・理由表現調査項目一覧」（方言文法研究会 2007、2010）

<p>1. 「から」と「ので」の用法</p> <p>1-1. 事態の原因</p> <p>1-1-1. 毎日雨が降る {から/ので} 洗濯物が乾かない。(動詞述語)</p> <p>1-1-2. 毎日雨が降る {だから/なので} 洗濯物が乾かない。(名詞述語)</p> <p>1-1-3. 天気いい {から/ので} 洗濯物がよく乾く。(形容詞述語)。</p> <p>1-1-4. この辺は静かだ {から/ので} 仕事に集中できる。</p> <p>1-1-5. 夕べいっぱい雨ふった {から/ので} 地面に水たまりができています。</p> <p>1-1-6. 子供 {だから/なので} わからなかった (名詞述語)。</p> <p>1-2. 行為の理由</p> <p>1-2-1. 体調が悪い {から/ので} 仕事を休むことにした。(叙述)</p> <p>1-2-2. 体調が悪い {から/ので}、今日は仕事を休もう。(意志)</p> <p>1-2-3. 夜道は暗い {から/ので}、一緒に帰ろう。(勧誘)</p> <p>1-2-4. 赤ん坊が寝ている {から/ので}、静かにしろ。(命令)</p> <p>1-2-5. 赤ん坊寝ている {から/ので} 静かにしてくれないか。(依頼)</p> <p>1-2-6. 雨降る {から/ので} 傘持っていけ。(命令)</p> <p>1-3. 判断の根拠</p> <p>1-3-1a. 星が出ている {から/ので}、明日もいい天気になるだろう。</p> <p>1-3-1b. A 「明日もいい天気になるべ。」 B 「どうしてわかるの？」 A 「星出ている {から/ので}。」</p> <p>1-3-2. 左手に指輪はめている {から/ので}、結婚している。</p> <p>1-3-3. 咳が出て熱っぽい {から/ので} 風邪を引いたのかもしれない。</p> <p>1-3-4. さっき新聞配達音がした {から/ので} もう5時を過ぎたんだろう。</p>	<p>1-4. 発言・態度の根拠</p> <p>1-4-1. 危ない {から/ので} この川で遊ぶな。</p> <p>1-4-2. 風邪ひくといけない {から/ので}、厚着して出かせなさい。</p> <p>1-4-3. 今日の仕事は全部終わった {から/ので}、もう帰ろう。</p> <p>1-5. 理由を表さない用法</p> <p>1-5-1. すぐにもどってくる {から/ので}、ここで待ってて。</p> <p>1-5-2. 一度でいい {から/ので}、ピラミッドに登ってみたい。</p> <p>1-5-3. お願いだ {から/ので}、お金を貸してください。</p> <p>1-5-4. 車を呼んであげる {から/ので}、すぐに病院に行きなさい。</p> <p>1-5-5. 机の上においてある {から/ので}、僕の財布取ってきてくれないか。</p> <p>1-6. 原因・理由の述語用法</p> <p>1-6-1. A 「気分が悪い」 B 「あんなにたくさん飲む<u>から</u>だよ」</p> <p>1-6-2. A 「今日ハデパート込んでいるね。」 B 「日曜日<u>だから</u>だろうね。」</p> <p>1-6-3. A 「最近、太郎の機嫌が悪いんだ。」 B 「私が次郎のことばかりほめる<u>から</u>じゃないか？」</p> <p>1-6-4. A 「最近、太郎の機嫌が悪いんだ。」 B 「私が次郎のことばかりほめる<u>から</u>かなあ。」</p> <p>1-6-5. A 「最近、太郎の機嫌が悪いんだ。」 B 「私が次郎のことばかりほめられる<u>から</u>もしいねいね。」</p> <p>1-6-6. A 「引越しの後、パソコンの調子が悪いんだ。」 B 「それは、運ぶときに落とした<u>から</u>にちがいないよ。」</p> <p>1-7. 従属節のモダリティ表現</p> <p>1-7-1. 伝聞・推定表現など</p> <p>1-7-1-1. (天気用法によれば) 今夜は雨が降るそう {だから/なので}、早めに帰ろう。</p> <p>1-7-1-2. (天気用法によれば) 今夜は雨が降るらしい {だから/なので}、早めに帰ろう。</p>
---	--

- 1-7-1-3. (雲行きを見ていると) 今夜は雨が降りそう {だから/なので}、早めに帰ろう。
- 1-7-1-4. どうも熱があるよう {だから/なので}、早めに帰ることにした。
- 1-7-1-5. 雨が降るかもしれない {から/ので}、傘を持ってきた。

1-7-2. 推量表現

- 1-7-2-1. 雨が降るだろうから、傘を持っていけ。
- 1-7-2-2. 山ではかなり雪が降っただろうから、雪崩が心配だ。
- 1-7-2-3. 外は寒いだろうから、厚着をして出かけよう。
- 1-7-2-4. 外は寒いだろうから、厚着をして出かけよう。
- 1-7-2-5. この分だと明日も雨だろうから、遠足は中止になるだろう。

1-7-3. 丁寧表現

- 1-7-3-1. ちょっと話がありますので、ここに来てください。
- 1-7-3-2. 危険ですので、かけこみ乗車はやめましょう。
- 1-7-3-3. 国の両親が訪ねて来ますので、今日は少し早めに帰らせていただいてもよろしいですか。

1-8. 文末用法

1-8-1. 倒置

- 1-8-1-1. ここでちょっと待っていて。すぐにもどって来るから。
- 1-8-1-2. ちょっと、5千円貸して。月末までに返すから。
- 1-8-1-3. 駅まで迎えに来て。7時に着くから。

1-8-2. 終助詞的用法

- 1-8-2-1. あとで、もう一度電話するから。
- 1-8-2-2. ちょっと出かけてくるけど、おやつ、プリンが冷蔵庫に入ってるからね。
- 1-8-2-3. 君のこと決して忘れないから。
- 1-8-2-4. (兄にいじめられた弟が兄に対して) お父さんに言いつけてやるからな。
- 1-8-2-5. 5時まで駅前の喫茶店にいるから。
- 1-8-2-6. ちょっと、スーパーまで買い物に行っ

てくるから。

- 1-8-2-7. 秘密をばらしたら、ただではおかないからな。

2. 「のだから」の用法

2-1. 「から (ので)」との相違

- 2-1-1a. 時間がないから {急いだ (事実の叙述) / 急ごう (意志) / 急げ (命令)}
- 2-1-1b. 時間がないんだから {×急いだ (事実叙述) / 急ごう (意志) / 急げ (命令)}
- 2-1-2a. 天気がいい {から/×んだから} 散歩にでかけた。
- 2-1-3. 毎日雨が降る {から/×んだから} 洗濯物が乾かない。
- 2-1-4. タベ大雨が降った {から/×んだから} 地面に水たまりができています。

2-2. 意味・用法

2-2-1. 確かな事実と当然の結論

- 2-2-1-1. こんなに頑張った {?から/んだから}、今度はずうまくいくはずだ。
- 2-2-1-2. 大事な話をしている {?から/んだから}、子どもはあっちへ行行ってなさい。
- 2-2-1-3. こっちは真剣 {×から/なんだから}、からかわないでくれよ。

2-2-2. 聞き手に対する要求表現

- 2-2-2-1. 若い {×から/んだから}、1度や2度の失敗でよくよするな。
- 2-2-2-2. 受験生 {×だから/なんだから}、もっと真剣に勉強しなさい。
- 2-2-2-3. せっかく留学する {×だから/なんだから}、ちゃんと勉強して来いよ。

2-2-3. 後件が聞き手の利益になる事柄の場合

- 2-2-3-1. チャンスはまだあるんだから、元気を出せようじき退院できるんだから、あと少しの辛抱じゃないか。

2-2-4. 倒置

- 2-2-4-1. 体に気をつけろよ、もう若くないんだから。
- 2-2-4-2. 自分で決めろよ。もう子供じゃなかったかな。
- 2-2-4-3. そりゃ心配するよ、親なんだから。

3. 接続詞「だから」の用法

3-1. 接続助詞「から」の文に言い換えられ、前件・後件が同一の話し手によるもの

- 3-1-1. 最近毎日雨が降る。だから洗濯物が乾かない。(事態の原因)
- 3-1-2. もう家を出る時間の30分前だ。だから早く起きなさい。(発言・態度の根拠)
- 3-1-3. すぐにもどってくる。だからここで待っていてくれ。(理由を表さない用法)

3-2. 接続助詞「から」の文に言い換えられ、前件・後件の間に話者交替があるもの

- 3-2-1. 相手の発話中の事態Pを受け、それから導かれる帰結Qを述べるもの
- 3-2-1-1. A: 「最近雨は雨が降るね。」
B: 「うん。だから洗濯ものが乾かなくて困るよ」
- 3-2-1-2. A: 「今日は雨が降るそうだね。」
B: 「だから傘持って行きなさい。」
- 3-2-2-1. A: 「大変だ。雨が降って来た。」
B: 「(雨が降るぐらいでどうして大変なのか理解できず)
「だからどうしたと言うの?/だから何なの?/だから?」

3-2-3. 相手の発話中の事態や発話時の状況Pが、既知の事態Qの原因・理由であると認定するもの

- 3-2-3-1. A: 「事故で電車が遅れているそうだよ。」
B: 「そうか。だから、みんなまだ来ないんだ。」
- 3-2-3-2. (外出先で混雑しているのにうんざりして) 「(これ) だから連休に出かけるのは嫌なんだ。」

3-2-3-3. (テレビで行楽地が混雑しているのを見て) 「(あれ) だから連休に出かけるのは嫌なんだ。」

3-2-4. 相手の発話中の事態や発話時の状況Pが、既に行った発話行為Qの理由であると認定するもの。

- 3-2-4-1. («やめておけ」と注意したのに、それを守らないで間違いをおこしたので) 「だから、やめておけと(言ったのだ/言っただろう/言ったじゃないか)。」
- 3-2-4-2. (孫に、注意したのに間違いをおこし) 「だから、するなと言ったじゃないか」

3-3. 接続助詞「から」の文に言い換えられず、「あなたもわかっているはずなのに」という話し手の態度を表すもの

- 3-3-1. A: 「さっき頼んだシゴト、ちゃんとやってね」
B: 「うん、今日中にやるよ。今ちょっと忙しくてできないんだ。
A: 「明日までにやってよ。」
B: 「だから、今日中にやる(と言ってるじゃないか)よ。」

3-3-2. 発話行為間の因果関係がないもの

- 3-3-2-1. A: 「さっき頼んだ仕事、やってくれた?」
B: 「え?何のこと?」
A: 「だから、午前中に頼んだあの仕事だよ。」
- 3-3-2-2. A: 「今日、ちょうど田中さんに会ったよ。」
B: 「どの田中さん?」
A: 「だから、昨日話していた3丁目の田中さん。」

本稿では、この内「1. 「から」「ので」の用法」と「2. 「のだから」の用法」の2つを扱う。この内、時間の関係上、2.2.2以降は扱っていない。

前田（2007）では、原因・理由表現を「二つの事態を一文で表現する場合、その両者の関係はさまざまに捉えることができるが、中でも二つの事態が時間的に前後して起きる場合、その両者は時間的な関係としても捉えることができるし、因果関係としても捉えることができる。」と解説し、基本的には、先に起こった事態が後から起こった事態を引き起こし、未実現の場合にはいわゆる仮定表現となり、実現済みの場合に原因・理由表現であると説明している。

また前田（2009）では、以下のように原因・理由文を分類している。

- A 原因／理由 昨日は風邪を引いたから、仕事を休んだ。
- B 判断根拠 結婚指輪をしているから、彼女は既婚者だ。
- C 可能条件提示 車を呼んであげるから、すぐに病院に行きなさい。

Bのような後に続く文に判断が現れるものは、前件が後件を引き起こしている訳ではなく、むしろ前件を引き起こすのが後件事態であるということもあるとし、以下のような例を挙げる。

- (3) 頭痛がしなくなってきたから、薬が効いてきたようだ。
- (4) 左手に指輪をはめているから、結婚しているに違いない。

このように、Bの判断根拠を表す場合は、前件の原因・理由と後件の判断内容とで、時間的前後関係が逆転することも可能であるとしている。また、判断の根拠の場合は、前件に未実現の事態が来る場合もあることも述べている。

- (5) 社長が来るらしいから、今日の食事はきっと豪華だろう。
- (6) 未成年も参加するだろうから、ジュースも用意しておいてください。

Cはいわゆる「理由を表さない用法」（白川 1995）で、前件と後件の因果関係が成立していないものである。

- (7) すぐ車を呼ぶから、これから箱根に行きなさい。。

こうしたものは「すぐ車を呼ぶ」ことが「箱根に行く」という事態を引き起こしている

訳ではない。先の調査項目では1-5に当たる。前田（2007、2009）では、これを「後件の実行を可能にし、促進させる事柄であり、まだ起こっていない後件事態の実現が可能になるのは前件が成立する（あるいは、既に成立している）からである、ということが述べられている」ために、上のような「条件提示」と位置付けられている。

以上のような原因・理由表現の調査項目、分類を元に、竹田（2010）では、東津軽郡外ヶ浜町のドゴデとハンデについて、「ハンデには制限がないのに対し、ドゴデには制限がある」としており、主な特徴を以下のようにまとめている。

1. 述語に後接する場合には、ハンデもドゴデも使用されるが、述語+ノダ形式にはハンデのみが用いられ、ドゴデは用いられない。
2. 当該方言における推量表現形式ペー/ベにはドゴデは後接しない。
3. 終助詞的な用法では、ドゴデは用いられない。
4. 接続詞においてドゴデはさらに制限され、発話現場においてPとQが関連づけにくいときはドゴデが用いられない。
5. 聞き手に対する要求表現ではどごでは用いられにくい。ハンデのみが回答された例文に即してドゴデの例文を話者に作成してもらおうと、主節は事実の叙述に変更される。
6. 原因・理由節の述語用法（XはYからだ）では、蓋然性が低い表現になるにしがって、ドゴデが用いられにくくなる。

本稿ではドゴデの前接形態や、その従属節の表す時制、使用できない場合についても、上記の竹田（2010）の論考を参考にしながら、考察を進める。尚、今回は4の接続詞は扱わない。方法は、現地における対面での聞き取り調査となる。

3. 青森県各市区町村におけるドゴデの使用状況（電話調査）

平内町調査での報告の前にここではまず、この順序確定のドゴデが、青森県においてどのように分布しているのかを簡単に示したい。竹田（2010）でも触れられているが、上の『方言文法地図』では原因・理由を表すドゴデの回答は、2地点のみの通信調査結果を示されてはいるが、先行研究では東津軽郡のさまざまな地域での報告があることから考えても、2地点のみではない東津軽地方の広域で行われるものと考えてよいようである。しかし、青森県のどの範囲までこの用法が行われているかについての調査は今のところ見られない。そこで、その使用状況を各市町村に問い合わせたものが以下の表となる。内容は、各市町村の役場の職員の方で、生え抜きの方に、ご自身がドゴデを使用する

か、或いは聞くことがあるか、聞くことがある場合、それはどのような年齢層か、についてである。あくまで各市町村のお一方に伺ったものであるため、確定的なものではない。

本電話調査は、2016年1月28・29日～2月1・17日に行ったものとなり、ご回答頂いたのは20代～60代までの男女となる。尚、今回聞き取り調査を行った平内町に関しては2015年8月に伺ったものとなる。表中の記号は、伺ったご本人が使う、または聞く場合は○、あまり使わない、あまり聞かない場合は△、全く使わない、聞かない場合は×とする。

【表2】「原因／理由のドゴデという表現を使用するか」という電話調査

(「※」印は20代の方、「－」はご回答頂けなかった場所となる。)

〈津軽方言地域〉

	市町村名	使う (本人)	人から聞く (対象：若 者20代)	人から聞く (対象：40 代以降)		市町村名	使う (本人)	人から聞く (対象：若者 20代)	人から聞く (対象：40 代以降)
市	青森市 (柳川近 郊)	×	×	○	東 津 軽 郡	平内町	○	×	○
	(浪岡)	○	×	○					
	弘前市	×	×	○					
	黒石市	—	—	—	北 津 軽 郡	板柳町	○	○	○
	五所川原市	×	○	○		鶴田町	○	○	○
	つがる市	×	×	○		中泊町	○	○	○
	平川市	○	○	○	西 津 軽 郡	鯉ヶ沢町	○	×	○
外ヶ浜町 (蟹田)	○	○	○	深浦町		×	○	○	
東 津 軽 郡	(平館)	○	○	○	中 津 軽 郡	西目屋村	×	△	○
	(三厨)	○	○	○					
	今別町	○	△	○	南 津 軽 郡	藤崎町	×	×	×
	蓬田村	×	△	○		大舘町	○	○	○
						田舎館村	○	△	○

〈南部方言地域〉

	市町村名	使う (本人)	人から聞く (対象：若者 20代)	人から聞く (対象：40 代以降)		市町村名	使う (本人)	人から聞く (対象：若者 20代)	人から聞く (対象：40 代以降)
市	十和田市	—	—	—	三 戸 郡	三戸町	× (岩手 の方)	×	×
	三沢市	○	×	○		五戸町	○	△	○
	八戸市	○	×	○		田子町	×	×	×
上 北 郡	野辺地町	○	—	○		南部町	×	△	△
	七戸町	×	×	○		階上町	—	—	—
	六戸町	×	×	△ (60代以 上)		新郷村	×	×	×
	横浜町	○	△	○					
	東北町	○	×	○					
	六ヶ所村	×	×	○					
	おいらせ町	○	△	○					

〈下北方言地域〉

	市町村名	使う (本人)	人から聞く (対象：若者 20 代)	人から聞く (対象：40代以 降)
市	むつ市 (むつ市 中央)	×	×	○ (50代以上)
	川内	—	—	—
	大畑町	×	×	○
	脇野沢	○	×	○ (50代以上)
下 北 郡	大間町	○	△	○
	東通村	○	△	○
	風間浦村	×	×	△
	佐井村	○※	×	○

上記の表で、津軽弁地域とされる所では、ドゴデは高齢者を中心にほぼ全域で行われていると考えて良さそうであるが、南津軽郡のような津軽地方においても秋田県寄りの場所になると、使用が見られないようである。また20代、30代の若者からは聞かれないという意見がほとんどであった中で、津軽半島の上部などでは、高齢者のみでなく、若者で

あっても現在も使用するという回答が得られた。また、南部弁地域は、岩手県寄りの三戸郡で、高齢層でも使用が見られないとする回答を3地点で得た。しかし、野辺地町、八戸においても、スケ、ヘデ、と共にドゴデも原因・理由表現として高齢層や、壮年層の親しい者の間での会話では使用されるという回答を得、このことから南部方言地域、北方言地域であっても、ドゴデは高齢層を中心に北部では使用されていることが分かった。この調査を踏まえ、次に平内町調査の報告を行う。

4. 調査の概要・方法

共に既に行われた東津軽郡外ヶ浜町の調査内容（竹田 2010）と同項目での聞き取り調査を、平内町生え抜きの30代後半男性（Aさん 37歳）、80代前半（Bさん 81歳）男性に行った。対面調査では、調査内容を話者に書面として提示し、このような表現をするか否かを回答して頂いた。また、全文を自身の発話しやすい言葉（津軽弁）で言い換えてもらい、録音記録を行った。以下にインフォーマントの居住歴を示す。

- ・Aさん：1981（昭和56）年生まれ。37歳。男性。平内町大字東田沢（中部）に0～29歳まで居住。30～37歳まで小湊に在住。父、母、祖父、祖母同じく平内町のご出身。妻も平内町。
- ・Bさん：1934（昭和9）年生まれ。81歳。男性。平内町小湊（中部）に0～53歳まで居住。54～57歳までは今別に、57～60歳まで西目屋に居住され、61歳～現在まで再び小湊に在住。妻は0～20歳まで弘前市に居住。

本調査は2015年10月14日（水）・15日（木）の2日間に渡り、平内町役場にて行った。調査時間はAさん約1時間、Bさん約2時間の合計約2時間である。

5. 結果の提示方法／文字化について

聞き取りの記録を文字におこし、示している。一つの事例に関し、竹田（2010）の調査の外ヶ浜町蟹田在住女性の回答と、平内町AさんとBさんの回答を併記する。3者のドゴデ・ハンデ以外の表現や俚諺などの若干の異なりは文中に丸括弧で記す。片仮名で表記をし、津軽弁の文の後に、丸括弧内に共通語での意味を記す。

俚言については、括弧内で共通語での注釈を加える。表現として自然なものには○印、自然でないものには×印を記す。

6 東津軽郡平内町調査と外ヶ浜蟹田調査（竹田 2010）の比較

ここからは、竹田（2010）の東津軽郡外ヶ浜町蟹田の調査結果と、平内町の調査結果を示す。竹田（2010）における話者は1946（昭和21）年生まれで、調査当時（2008年）61歳の東津軽郡奥内村（現・青森市の西北付近）出身、同外ヶ浜町蟹田在住（36歳から調査当時まで）の女性となる。尚、平内町80代男性（Aさん）はハンデをハデとしていたため、そのように記す。

6.1 「から」と「ので」の用法

6.1.1. 事態の原因

(8) メンズ アメフル ドゴデ／ハンデ センタクモノ カワガネ。

(めんず（毎日）雨が降る ドゴデ／ハンデ 洗濯物が乾かない。)

- ▶平内 30代男性（Aさん） 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80代男性（Bさん） 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(9) テンキイー ドゴデ／ハンデ センタクモノ ヨグ カワク。

(天気いい ドゴデ／ハンデ 洗濯物よく乾く。)

- ▶平内 30代男性（Aさん） 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80代男性（Bさん） 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(10) コノヘンハ シヅカダ ドゴデ／ハンデ シゴトニシューチューデキル。

(この辺は静かだ ドゴデ／ハンデ 仕事に集中できる。)

- ▶平内 30代男性（Aさん） 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶平内 80代男性（Bさん） 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(11) ユンベ イッペ アメフッタ ドゴデ／ハンデ ジメンニ ミズタマリ
デギデダ。

(タベいっばい雨ふった ドゴデ／ハンデ 地面に水たまりできてた。)

- ▶平内 30代男性（Aさん） 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80代男性（Bさん） 【○ドゴデ／○ハデ】

▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(12) ワラスダ ドゴデ／ハンデ ワガラネガッタ。

[童子だ (こどもだ) ドゴデ／ハンデ わがらなかつた。]

▶平内 30 代男性 (A さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】

▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】

▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.2 行為の理由

(13) カラダ アンベ ワリ ドゴデ／ハンデ シゴト ヤスムコトニ シタジャ。

(体の具合が悪い ドゴデ／ハンデ、仕事休むことにしたよ。)

▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】

▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】

▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(14) ヨミジクレ ドゴデ／ハンデ イッシヨニカエルベ。

(夜道が暗い ドゴデ／ハンデ、一緒に帰ろう。)

▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】

▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】

▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(15) アカンボー (ガキ) ネデラ ドゴデ／ハンデ シヅカニシロ。

(赤ん坊が 寝ている ドゴデ／ハンデ、静かにしろ。)

▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】

▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】

▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(16) チカクデ アカンボー ネテタ ドゴデ／ハンデ シヅカニセ。

(近くで赤ん坊寝てた ドゴデ／ハンデ 静かにしろ。)

▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】

▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】

▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(17) アカンボ ネデタ ドゴデ／ハンデ シヅカニシテケロジャ (シテケネガ)。

(赤ん坊寝てた ドゴデ／ハンデ 静かにしてしてくれよ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(18) コレカラ アメ フル ドゴデ／ハンデ カサ モツテイケ。

(これから雨降る ドゴデ／ハンデ傘持っていけ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.3 判断の根拠

(19) ホシ デテタ ドゴデ／ハンデ アシタモ テンキニ ナルベナー。

(星出た ドゴデ／ハンデ 明日も天気になるなるだろうなあ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(20) A : アシタモ イー テンキニ ナルベー。

(明日もいい天気になるだろう。)

B : ナンデ ワカルノ ?

(なんでわかるの?)

A : ホシ デテタ ドゴデ／ハンデ ヨー。

(星出た ドゴデ／ハンデ よー。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(21) ヒダリテニ ユビワ ハメデル ドゴデ／ハンデ ケッコシテルナー。

(左手に 指輪はめている ドゴデ／ハンデ 結婚してるなー?)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(22) セキデテ ネットッポイ ドゴデ／ハンデ カゼ ヒイダガモワカンネ。

(咳が出て熱っぽい ドゴデ／ハンデ 風邪引いだかもわからない。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(23) サッキ シンブンハイタツノ オド シタ ドゴデ／ハンデ。

モウゴジ スギダンダビョン (バー)。

(さっき新聞配達の声がした ドゴデ／ハンデ もう 5 時過ぎたんだらう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.4 発言／態度の根拠

(24) アブネ ドゴデ／ハンデ コノカワデ アソブナ。

(危ない ドゴデ／ハンデ この川で遊ぶな。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(25) カゼ ヒケバ マイネ ドゴデ／ハンデ アツギシテ デカケロ。

(風邪ひいたらいけない ドゴデ／ハンデ 厚着して出かける。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(26) キョーノシゴト、ゼンブ オワッタ ドゴデ／ハンデ モウカエロウ。

(今日の仕事、全部終わった ドゴデ／ハンデ、もう帰ろう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.5 理由を表さない用法

(27) スグニ モドッテクル ドゴデ／ハンデ ココデマッデテ。

(すぐにもどってくる ドゴデ／ハンデ、ここで待ってて。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(28) イツカイデー ドゴデ／ハンデ ピラミッドニノボッテミテエジャ。

(一回でいい ドゴデ／ハンデ、ピラミッドに登ってみたいよ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(29) オネガイダ ドゴデ／ハンデ スコップカシテ。

(お願いだ ドゴデ／ハンデ、スコップ貸して。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(30) クルマ ヨンデクル ドゴデ／ハンデ スグビョウインニ イコウ。

(車呼んでくる ドゴデ／ハンデ、すぐ病院に行こう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(31) ツクエノウエニ (サ) オイテル (オイデラ) ドゴデ／ハンデ オレノサイフ
モッテキテケネベカ。

(机の上に置いてある ドゴデ／ハンデ、俺のサイフ持ってきてくれないか。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.6 原因／理由の述語用法

(32) A: アンベ ワリイヨ。

(具合悪いよ。)

B: アッタニモ ノマ ドゴデ／ハンデ ダネ。

(あんなに飲む ドゴデ／ハンデ だよ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(33) A : キョウハ ミセ コンデルネ。

(今日は店混んでいるね。)

B : ニチヨウビダ ドゴデ／ハンデ ヨー。スカタネヤネ。

(日曜日だ ドゴデ／ハンデよー。仕方ないよ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

B : ジロウバリ ホメル ドゴデ／ハンデ ダベカー？

(次郎ばかり 褒める ドゴデ／ハンデ でないか？)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(34) A : ヒッコシノアト テレビノ チョウシガ ワルインデス。

(引っ越しの後、テレビの調子が悪いんです。)

B : ソレハ、ハコブトキ オトシタ ドゴデ／ハンデデネカ。

(それは、運ぶ時、落とした ドゴデ／ハンデ じゃないか。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

6.1.7 従属節のモダリティ表現

■伝聞／推定表現など

(35) アメ フルッテル (フルソング) ドゴデ／ハンデ ハヤメニカエルベ。

(天気予報見たら、雨が降るって言ってる ドゴデ／ンデ、早めに帰ろう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(36) テンキヨホ ミタラ アメフルラシー ドゴデ／ハンデ ハヤメニ カエロウ。
(天気予報見たら、雨降るらしい ドゴデ／ハンデ、早めに帰ろう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(37) ソラヲミタラ、アメ フリソング ドゴデ／ハンデ ハヤメニ カエロウ。
(空を見たら、雨降りそんだ ドゴデ／ハンデ、早めに帰ろう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【○ドゴデ／×ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(38) ドーモ、netzガ アルンタ ドゴデ／ハンデ ハヤメニカエラセテイタダキマス。
(どうも、熱があるんだ (あるようだ) ドゴデ／ハンデ、早めに帰らせていただきます。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(39) アメ フルガモ ワカラナイ ドゴデ／ハンデ、カサ モッテキタジャ。
(雨降るかもわからない ドゴデ／ハンデ、傘持ってきたよ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【○ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

■推量表現

(40) アメ フルベ ドゴデ／ハンデ カサ モッテイケ。
(雨降るべ ドゴデ／ハンデ 傘持っていけ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】

- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(41) ヤマデ カナリ アメフッタベ ドゴデ／ハンデ ナダレガシンパイダ。

(山でかなり雨降たべ ドゴデ／ハンデ 雪崩が心配だ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(42) タイシタ アメニ ナンネベ ドゴデ／ハンデ カサモッテイガナイヨ。

(大した雨にならないだろう ドゴデ／ハンデ 傘持っていないよ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(43) ソド サムイベ ドゴデ／ハンデ アツギシテ デカケベ。

(外寒いべ ドゴデ／ハンデ 厚着して出掛けべ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(44) コノブンダド アシタモ アメダベ ドゴデ／ハンデ エンソク チューシニ
ナンベナー。

(この分だと明日も雨だべ ドゴデ／ハンデ 遠足中止になんべなー。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

■丁寧表現

(45) チョット ハナシガ アリマス ドゴデ／ハンデ ココサ キテケロ。

(ちょっと話があります ドゴデ／ハンデ ここへ来てくれ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／×ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(46) キケンデス ドゴデ／ハンデ カケコミジョウシャハ ヤメマシヨウ。

(危険です ドゴデ／ハンデ 駆け込み乗車はやめましょう。)

- ▶平内 30代男性 (Aさん) 【×ドゴデ／×ハンデ】
- ▶平内 80代男性 (Bさん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(47) クニノ リョーシンガ タズネテキマス ドゴデ／ハンデ キョウハ スコシ
ハヤメニ カエラセテ モラッテ イーデスカ。

(国の両親が訪ねてきます ドゴデ／ハンデ 今日は少し早めに帰らせてもら
ってもいいですか?)

- ▶平内 30代男性 (Aさん) 【×ドゴデ／×ハンデ】
- ▶平内 80代男性 (Bさん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.8 文末用法

■倒置

(48) ココデ チョット マッテテ スグ モドッテクル ドゴデ／ハンデ。

(ここでちょっと待ってて。すぐもどってくる ドゴデ／ハンデ。)

- ▶平内 30代男性 (Aさん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80代男性 (Bさん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(49) チョット ゴセンエン カシテ。ゲツマツ マデニ カエス ドゴデ／ハンデ。

(ちょっと5千円貸して。月末までに返す ドゴデ／ハンデ。)

- ▶平内 30代男性 (Aさん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80代男性 (Bさん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(50) エキマデ ムカエニ キテヨ。シチジニ ツク ドゴデ／ハンデ。

(駅まで迎えにきてよ。七時に着く ドゴデ／ハンデ。)

- ▶平内 30代男性 (Aさん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80代男性 (Bさん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

6.1.9 終助詞的用法

(51) アドデ モウイッカイ デンワスル ドゴデ／ハンデ。

(後でもう一回電話する ドゴデ／ハンデ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(52) チョットデカケテクルケド、オヤツノプリン レイゾウコサ ハイッテル ドゴデ／ハンデ。

(ちょっと出かけてくるけど、おやつプリン冷蔵庫さ入ってる
ドゴデ／ハンデ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(53) アナタノコト (オメノコト) ゼツタイ ワスレナイ (ワスレネ)
ドゴデ／ハンデ。

(あなたのこと絶対忘れない ドゴデ／ハンデ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(54) オトウサンサ シャベッテケラ (イイツケテヤル) ドゴデ／ハンデ ナー。

(お父さんさしゃべってけら ドゴデ／ハンデ ナー。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(55) ゴジマデ エキマエノ キッサテンニ イル ドゴデ／ハンデ。

(五時まで駅前の喫茶店にいる ドゴデ／ハンデ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(56) チョット スーパー マデ カイモノニ イツテクル ドゴデ／ハンデ。

(ちょっとスーパーまで買い物に行ってくる ドゴデ／ハンデ)。

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(57) ヒミツ バラシタラ タダデ オカネ ドゴデ／ハンデ ナー。

(秘密ばらしたらただで置かね ドゴデ／ハンデ ナー)。

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

6. 2 「のだから」の用法

6.2.2 「から／ので」との相違

(58) ジカンネー ドゴデ／ハンデ イソグベ。

(時間ねえ ドゴデ／ハンデ 急ごう。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(59) ジカンネエ ドゴデ／ハンデ イソゲ。

(時間ねえ ドゴデ／ハンデ 急げ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ／○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ／○ハンデ】

(60) ジカンネンダ ドゴデ／ハンデ イソイダ。

(時間ねんだ ドゴデ／ハンデ 急いだ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ／×ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

(61) ジカンネンダ ドゴデ／ハンデ イソグベ。(誘いかけ)

(時間ねんだ ドゴデ／ハンデ 急ぐべ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【×ドゴデ／×ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(62) ジカンネンダ ドゴデ／ハンデ イソグ。

(時間ねんだ ドゴデ／ハンデ 急げ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(63) テンキイイ ドゴデ／ハンデ サンポニデカケタ。

(天気いい ドゴデ／ハンデ 散歩に出かけた。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【○ドゴデ／○ハンデ】 |

6.2.3 意味・用法

(64) コッタニガンバッタ ドゴデ／ハンデ コンドハ ウマク イクハズダ。

(こったに頑張った ドゴデ／ハンデ 今度はうまくいくはずだ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【○ドゴデ／○ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【○ドゴデ／○ハンデ】 |

(65) コッタニ ガンバッタンダ ドゴデ／ハンデ コンドハ ウマクイクハズダ。

(こったに頑張ったんだ ドゴデ／ハンデ 今度はうまくいくはずだ。)

- | | |
|-------------------|-------------|
| ▶平内 30 代男性 (A さん) | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |
| ▶平内 80 代男性 (B さん) | 【×ドゴデ／×ハデ】 |
| ▶外ヶ浜 60 代女性 | 【×ドゴデ／○ハンデ】 |

(66) ダイジナハナシ、シテタ ドゴデ／ハンデ コドモハ アッチサイケ。

(大事な話、してた ドゴデ／ハンデ 子供はあっちさ行け。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ/○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ/×ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ/○ハンデ】

(67) ダイジナハナシ、シテルンタ ドゴデ/ハンデ コドモハ アッチサイケ。
(大事な話しているんだ ドゴデ/ハンデ 子供はあっちへ行け。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ/○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ/○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ/○ハンデ】

(68) コッチハシンケンダ ドゴデ/ハンデ カラカワナイデケ。
(こっちは真剣だ ドゴデ/ハンデ、からかわないでくれ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ/○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ/○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ/○ハンデ】

(69) コッチハシンケンダダ ドゴデ/ハンデ カラカワナイデケ。
(俺は真剣なんだ ドゴデ/ハンデ、からかわないでくれ。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ/○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ/○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ/○ハンデ】

6.2.4 聞き手に対する情報一行動要求/確認要求

(70) ワゲ ドゴデ/ハンデ イッカイヤニカイノシッパイデ クヨクヨスナ。
(若い ドゴデ/ハンデ、一回や二回の失敗でくよくよすんな。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ/○ハンデ】
- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【○ドゴデ/○ハデ】
- ▶外ヶ浜 60 代女性 【○ドゴデ/○ハンデ】

(71) ワゲンダ ドゴデ/ハンデ イッカイヤニカイノシッパイデ クヨクヨスナ。
(若けんた ドゴデ/ハンデ、一回や二回の失敗でくよくよすんな。)

- ▶平内 30 代男性 (A さん) 【×ドゴデ/○ハンデ】

- ▶平内 80 代男性 (B さん) 【×ドゴデ／×ハデ】
 ▶外ヶ浜 60 代女性 【×ドゴデ／○ハンデ】

7. まとめと今後の課題

順接確定のドゴデが使用できるおおまかな表を以下にまとめる。完全に使用できるものを◎、半分以上使用できるものを○、半分、或いはそれ以下であるものを△、全く使用できないものを×とした。(△の場合、ドゴデが自然な回答数／全質問、を分数で示す。)

【表 2】外ヶ浜町蟹田 60 代 (2008 年当時) 女性と平内町 80 代男性、平内町 30 代男性の比較

	事態の原因	行為の理由	判断の根拠	発言／態度の根拠	理由を表さない用法	原因／理由の述語用法	従属節のモダリティ用法		丁寧の接続
							伝聞／推定	推量	
外ヶ浜町／蟹田調査時 60 代女性	◎	◎	○	◎	△ (3/5)	△ (2/4)	◎	×	◎
平内 80 代男性	◎	○	◎	◎	○	◎	△ (1/5)	×	○
平内 30 代男性	○	×	×	×	×	△	△	×	×

	文末	終助詞的	のだから	のだから	
				確かな事実と結論	行為要求／確認要求
外ヶ浜町／蟹田調査時 60 代女性	◎	×	△ (3/6)	○	△ (1/2)
平内 80 代男性	◎	○	○	○	△ (1/2)
平内 30 代男性	×	×	×	×	×

- ①**事態の原因**の用法の場合には、外ヶ浜の調査当時 60 代女性、平内 80 代男性の場合にはすべて使用可能であったが、平内 30 代男性においてはドゴデには名詞＋ダ、形容動詞の接する使用のみが見られた。
- ②**行為の理由**に関しては、外ヶ浜の 60 代女性は全ての例の使用が可能であったが、平内町 80 代男性に関しては、依頼表現の時のみ使用ができなかった。
- ③**判断の根拠、発言・態度の根拠**では、外ヶ浜 60 代女性、平内 80 代男性とも使用できたが、平内 30 代男性にはすべて使用できなかった。
- ④**理由を表さない用法**では、では、外ヶ浜 60 代女性は名詞＋ダで表す心内の状態を前件に表すことはできるが、未実現を前件に表すことはできない。対して平内 80 代男性は、形容詞、名詞＋ダで表す心内に関して前件で表すことができず、動詞で表す、モノの性的状態や、未実現行為を表すことができる。平内 30 代男性にはすべて使用で

きなかった。

- ⑤**原因／理由の述語用法**では、外ヶ浜の調査当時 60 代女性では、前件が不確定の時には使用ができず、確定していたり、信念を表す時には使用できた。平内 80 代男性の場合にはすべて使用可能であったが、平内町 30 代男性においても比較的同様の現象が見られた。
- ⑥**従属節内のモダリティ表現の内、伝聞／推定用法**は外ヶ浜の調査当時 60 代女性では使用可能であったが、平内 80 代男性の場合には伝聞用法の時のみ使用可であった**推量表現**に関しては、全ての話者で使用不可であった。
- ⑦**丁寧表現**に関しては、外ヶ浜の調査当時 60 代女性は全て使用でき、平内 80 代男性の場合には名詞＋デスのみの使用が可であった。平内 30 代男性においては全て使用が見られなかった
- ⑧**終助詞的用法**では、外ヶ浜の調査当時 60 代女性は全て使用が見られなかったが、平内 80 代男性の場合には否定に接続する以外は使用可であった。平内 30 代男性の場合には全て使用できなかった。
- ⑨**「のだから」**の用法では、全ての話者が使用できなかった。
- ⑩**「確かな事実とその当然の結論」**では、外ヶ浜の調査当時 60 代女性、平内 30 代男性共に使用できないが、平内 80 代男性に関しては、動作現在＋んだドゴデ…の使用が一部見られた。
- ⑪**「聞き手に対する要求表現」**では、外ヶ浜の調査当時 60 代女性、平内 80 代男性共に「んだ」の後には使用できないが、平内 30 代男性には形容詞であっても使用できなかった。

おおまかにまとめると、ハンデの使用は動詞接続、形容詞、形容動詞、名詞＋ダ接続であっても、また現在のことであっても、未実現、既実現であっても使用可能であるのに対し、ドゴデには使用の制限が見られる。その内実は、外ヶ浜の調査当時 60 代女性、平内 80 代男性に関しては動詞接続、形容詞、形容動詞、名詞＋ダ接続にも見えるが、平内 30 代男性に関しては、典型的には名詞＋ダ接続の話者の判断に基づく表現、また現在の「～ている」、受身の「～られる」にのみ見える、という状況であった。外ヶ浜 60 代女性と、平内 80 代男性の最も大きな違いは、外ヶ浜 60 代女性に終助詞の用法が見られないのに対し、平内 80 代男性には使用できる点である。しかし平内 30 代男性の言によれば、ドゴデは呼びかけや誘い掛け、終助詞用法では決して使用できない、とのことであった。今回の調査では、明示的な法則を述べることができない状態ではあるが、今後更に人数を拡大し、調査を継続する。今後は中世末期資料におけるトコロデと青森現代方言のドゴデの比較を課題としているが、この地理的変異の在り方も法則として見出すべく行う予定である。

〈使用資料〉

■辞書：J. ロドリゲス（訳注：土井忠生）（1965）『日本大文典』／（1980）『邦訳日葡辞書』（森田武 編 訳）
／『時代別国語大辞典 室町篇』三省堂

■中世末期資料：『史記桃源抄の研究』日本学術振興会／『大藏虎明本狂言集の研究 本文篇上・中・下』表現社

〈参考文献〉

国立国語研究所編（2007）『全国方言談話データベース日本のふるさとことば集成』

第1巻 北海道／青森編（調査は1979年のもの）

小林賢次（1996）『日本語条件表現史の研究』ひつじ書房

此島正年（1963）『青森県の方言』青森県文化財保護協会

此島正年（1966）『国語助詞の研究』桜楓社

阪倉篤義（1958）「条件表現の変遷」『国語学』33

———（1993）『日本語表現の流れ』岩波書店

白川博之（1995）「理由を表さないカラ」『複文の研究（上）』くろしお出版

田中茂（2000）『津軽木造新田地方の方言』青森県文芸協会出版部

平内町教育委員会（1980）『青森県平内方言集』（山村秀雄編）

方言文法研究会編（2007）『全国方言文法辞典《原因・理由表現編》』

2004年度～2006年度科学研究費補助基金研究（C）「日本語諸方言の条件表現
に関する対象研究」（課題番号16520285・研究代表者：前田直子）研究成果
報告書 <http://hougen.sakura.ne.jp/shuppan/2007.html>

———（2010）『全国方言文法辞典資料集（1）原因／理由表現』

2007～2009年度 科学研究費補助金 基礎研究（C）『全国方言文法辞典』
のための諸方言の文法に関する対象研究」（課題番号：19520403・研究代表
者：前田直子）研究成果報告書

<http://hougen.sakura.ne.jp/shuppan/2010.html>

前田直子（2009）『日本語の複文—条件文と原因・理由文の記述的研究—』くろしお出版

矢島正浩（2013）『上方／大阪語における条件表現の史的展開』笠間書院

吉田永弘（2000）「ホドニ小史—原因理由を表す用法の成立—」『国語学』51-3

———（2007）「中世日本語の因果性接続助詞の消長—ニヨッテの接続助詞化を中心に—」

『日本語の構造変化と文文化』ひつじ書房

〈謝記〉

本調査は、青森県平内町役場企画政策課の方々にも全面的なご協力を頂きました。記して感謝申し上げます

たく存じます。通常職務のお忙しい中、本当にありがとうございました。

また、勉強、調査準備の段階から修士課程2年の伊藤芳樹さん（方言研究専門）には多大なるご教示、助言、サポートを頂きました。感謝申し上げます。

（三浦 さつき 大学院人文社会系研究科 修士課程3年）